

# 地区協わかば

発行者: 若葉学校地区協議会  
会長 藤丸 卓男  
事務局: 調布市立若葉小学校内  
連絡先: 調布市協働推進課  
042(481)7036  
地区協mail:  
wakabatikukyo@gmail.com

## 2018防災座談会

9月2日10時から東部公民館に於いて、調布市総合防災安全課の堀課長による講話と座談会の2部構成で、防災座談会を実施しました。市販のカップ麺を水でも作れる(30~40分掛かります)と言うので、実際に作って食べてみました。

### 1部 「防災意識」についての講話

避難場所はかなりの劣悪な状態であることを理解して、行かずに済ませることの重要性を認識してほしい。「まず死なない!」と言うことを前提に、家の対策を考える。家で過ごす際に必要な準備を考える。

①家具の転倒・落下防止の工夫をしよう。

②食事以外の備えも考えよう。

・トイレ(携帯トイレ、非常用トイレ等)

・停電・ガス対策

・常備薬・ミルク等

③食料(食べもの・飲料水)の備蓄は最低7~10日分を。

非常用だけでなく、日頃の好きな食べものでの備蓄も考えましょう。

それらを踏まえて、近隣の方々との助け合いが大事だと思います。



とのお話でした。

### 2部 座談会

座談会は4つのグループに分かれ、1部の感想や避難所問題、備蓄問題など、直面する問題について意見交換が行われました。

避難所問題では、

◎高齢者が多いので避難所まで行くのが大変

◎自宅で過ごすという認識を高めたい

備蓄問題では、

◎備蓄内容で各自治会で差がある

◎食料を置く自治会、置かない自治会に分かれる

◎個人でも、水のみ、水と食料3日間、1週間とまちまち

その他、

◎高齢者の一人住まいが多くなっている

◎防災放送が聞こえない

◎野川の水害が心配

◎防災マップを早急に作りたい

◎防災訓練をやったが役員のみだった

など。

安否確認の訓練や災害弱者問題は全体的に手つかずのままで、今後の課題となっています。



2018  
**14**  
JULY



# 若葉の杜の音楽会

7月14日(土)若葉小学校体育館にて第7回若葉の杜の音楽会を開催しました。とても暑い中、たくさんの方々が来てくださいました。若葉小のダンスクラブの発表ではじまり、若葉地区在住の「メサージュ・カルテット—one」のフルート演奏、桐朋学園出身の屋敷真公子さんのピアノと歌の演奏、最後は、第四中学校の合唱部の合唱と吹奏楽部の演奏で締めくくりました。素敵な演奏に耳を傾けたり、会場のみんなで歌ったり、熱気に満ちた音楽会になりました。

(広報・地域交流推進委員 山下由有)

**WAKABA  
NO  
MORI**



## 防犯関係のお知らせ

### 大幅に増加しています、特殊詐欺 !!

今調布市内ではかつてないほどの勢いで、特殊詐欺の被害が増加中です。  
一昨年37件、昨年は53件、今年は7月現在すでに36件を数え、当地区分4件が含まれています。  
被害総額も億単位で、深刻な事態です。

だましのテクニックはいろいろで、油断できない新しの手口が次々と開発？されています。卑劣なだましの罠にはまることのないように、私たちも日頃から知見を広めて、不審な電話などには賢く対応することが求められています。

ニセ息子・孫・甥、ニセ市役所職員、ニセ銀行員、ニセ警察官、ニセ弁護士、等々によるニセの贈り物、ニセの警察手帳、ニセの通知文書、等々が知られています。  
掛かってくる電話は、まず疑うことです。おかしいと感じたらすぐに警察に確認を！

当防犯推進委員会では今年も防犯座談会で、この特殊詐欺の問題を取り上げ、専門家の知恵も借りて、私たちの今の認識を更新したいと考えています。  
グループ討議の際には、皆さまの積極的なご参加、ご協力をお願い致します。

不審な電話があればTEL 042-488-0110へ (警視庁調布警察署)

(防犯推進委員 山田 十三男)



## 夏祭り (8月17日、18日)



2年続けて美味しいお好み焼きを作りました。  
昨年はゲリラ豪雨で祭りの中断を余儀なくされましたが、今年は天候に恵まれました。去年のノウハウを活かして新しいメンバーと共にあうんの呼吸で作業も手際よくでき、行列ができる程の繁盛ぶりで、熱い鉄板の前で張り切って焼きました。

(防災推進委員 西森 正子)

射的は、始まる前から長い行列。思いがけず的を射た子の驚きと笑顔、特賞に得意満面な子、残念賞でがっかりの子、いろいろな表情に出会えました。  
じっくり構える子に急がさずじっと順番を待つ、思いやる気持ちを感じました。

(防犯推進委員 林 易子)



金魚すくいには、甚平を着たよちよち歩きのお子さんから、おじいさんおばあさんまで、今年も大人気でした。  
中には、1つのポイ(金魚すくいの網)で、10匹以上捕る子もいて、平成最後の夏祭りは楽しく終わりました。

(広報・地域交流推進委員 内田 広子)

## 四中生がスマホ自主ルールを作りました

9月1日(土)の朝日新聞に本校の「スマホ教育」の取り組みについての記事が掲載されました。本校が本年度、「情報モラル推進校」として東京都教育委員会から指名され、推進校としての事業をすすめているからです。

これまでの本校の取り組みは、いじめを発生させない観点から、「SNS 四中ルール」を「SNS 東京ルール」をベースに生徒会活動、学級討議、保護者啓発を経て作成、改善をしてきました。また、四中学区の小学6年生(250名)の生徒を対象に、生徒会が「SNSトラブル防止」について、プレゼンテーションを行いました。1学期に1回、全学年で「SNS東京ノート」を活用した授業も行いました。そして、「情報モラル推進校事業」の一環として、10月3日(水)13:30~14:20まで、体育館で授業公開を行いました。テーマは、「SNSの利用におけるモラルを考えよう」です。2年生全員が授業を行い、最初に生徒会役員が「SNSトラブル」のプレゼンテーションを行いました。次に個人作業として「SNS東京ノート」のカードを活用し、与えられた課題について考えた後、小集団(4人)グループとなり、話し合い活動を行いました。最後にグループの代表数班がホワイトボードに発表内容を書き、全員の前で発表しました。この授業形態を「スマホミーティング」と呼んでいます。最後に、本時の授業で学んだことの感想を東京ノートに記入させ、回収して授業を終了しました。今後も、「情報モラル推進校」としての役割を十分に果たしていきたいと思えます。12月には、都庁で中間発表をする予定です。

(調布市立第四中学校 副校長 吉岡 正元)



## 夜も安全をありがとう

若葉小学校の蛍池に今年も蛍が飛び始め、7月の2日間だけ『蛍の鑑賞会』を行いました。

保護者、児童、地域の方が約500人来校されました。夜の校庭は小さな光と、大きな歓声にほっこりとした初夏の風が吹いていました。

夏休み『サマーチャレンジわかば30』では、特別講座として8月1日に「星空観察」を行いました。火星大接近という今年度の観察テーマでしたが、火星の砂嵐を観たり、土星・木星もならんで確認できたりと、好奇心をそそられる素晴らしい現象を観察することができました。

これらは若葉小学校支援地域本部が行った、夜のイベントです。いずれも保護者同伴でなければ児童は参加できません。皆様ありがとうございました。



また、こういった時にいつも頼ってしまいますが、夜のパトロールを快く引き受けてくださった地区協の皆様、本当にありがとうございます。いずれも無事に終了することができました。

安全はこうした目に見えない方々の上に保たれているものです。蛍の命の光も、星の偉大な光も、パトロールの熱い心の光も、私たちは大切にしたいですね。ありがとうございました。

(若葉小学校支援地域本部 大嶋 文子)